



国際ロータリー第2790地区

# 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	榊原 行夫	幹事	小林 透	雑誌会報委員長	瀬谷 研一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2011年4月第4週号

## 第2310回



平成23年4月22日(金) 点鐘12:30 (晴れ)

- ◆ロータリーソング 『それこそロータリー』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### 会長挨拶及び報告 榊原 行夫会長

この度の地震災害で各クラブより、ガバナー事務所へ義捐金が送られてきたそうです。第2790地区で現在、総額44,357,207円集まっているそうです。

今年度も後2か月となりました。どうぞ最後までご協力の程、宜しくお願い致します。

### 幹事報告 小林 透幹事

・千葉幕張RCより、今年も「アートフレンズ展」(障害を持ちながらアートする中学生以上の出品者)のご案内が来ておりますので是非足を運んでみて下さい。

時⇒ 5月24日(火)～29日(日)まで

場所⇒ 千葉市美術館9階市民ギャラリー (入場無料)

・次週29日は、祝日でお休みです。5月6日は、定款により休会です。次回の例会は、5月13日です。

### 幹事報告 伊藤 和夫副幹事

早速ですが、明後日(24日)、地区協議会がアパホテルで開催されます。該当する方は、ご出席下さいませよう宜しくお願い致します。

### ニコニコボックス報告

#### ☆植松 省自会員

川合さん、本日の卓話、宜しくお願い申し上げます。小生、卓話を楽しみにしていたのですが、業界の会議の予定が入ってしまい、例会に出席出来ませんでした。申し訳ありません。

本日のニコニコボックス	2,000 円	累計	525,000 円
金の箱	360 円	累計	23,648 円

### 出席報告 (会員数39名)

出席者数31	欠席者数 8	ビジター 0	修正出席率 76.32%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	5/16	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火		センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	5/17・24	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	—	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	5/26	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	5/19	京成ホテルミラマレ

### ★ 本日の卓話 ★

演 題…『ゆめ半島房総の美術』  
卓話者… 川合 榎栄会員



ありませんが・・・。

本日の卓話をすることで一つの事件にぶつかりました。卓話をさせてほしいとプログラム委員長にお願いをしましたら、3月までいっぱいだということで今日になりました。事件といっても大きなものでは

私は、絵描きだけでは食べていけないから親の代からの洋服屋を継いで経営しております。当然借金もありますので金融機関との取引があります。それで1月に入りまして、ある大手の金融機関の新入行員なのでしょうが私の担当になったからと挨拶に見えたのです。色々な話をしていて横山大観の話をしたら全然知らないのです。私にしてみれば神様の次ぐらいに偉い横山大観を全然知らないっていうのは…。確かにそれは、経済というのは大事ですけど、「人はパンのみによって生きるものではない」という有名な格言がございまして、やはり車のハンドルじゃないけど、15°の遊びがないと交通事故も起こるし、生活の余裕っていうのでしょうか、それに該当するのが美術あるいは趣味だと思うのですね。あまり、経済

が経済がとやっていると生活が枯れますから、経済が大事なのは分かりますけれども、余りにも偏りすぎというか、もう少し世の中に経済以外の価値を啓蒙しないといけないと思います。私たちが黙っていて、このまま世の中が進んで誰も判かってくれないのでは、今の時代はもう駄目じゃないかと反省をしまして、まず最初にロータリーの友達の皆さん方に私の気持ちを聞いて頂こうと思い、今日の卓話をお願いしたわけです。

千葉というところは、非常に独特のものを持っておりまして、まず、千葉県の形からして似たところがひとつもないですね。他の県はいろんな格好が似ていますが、一目で千葉県というの分かってしまう。三方を海に囲まれて、上は利根川、東京都は江戸川区の境、境界がはっきりと線を引いておりますので、一目で分かってしまうというのは日本の地図を見ても千葉だけです。

あと一つは、非常に写生地が多くて、風光明媚で昔から絵描きの往来が頻繁で、また千葉県から優秀な絵描きが結構出ております。ロータリーの日帰り親睦旅行で鋸南町にある菱川師宣記念館に行きましたが、菱川師宣は保田の出身です。また、関西方面で活躍していた浅井忠は、佐倉藩の出身で梅原龍三郎、安井曾太郎の師匠ですし、優秀な人がかなり出ています。お配りした資料を見て頂いても千葉県出身の人がかなり多いということが分かります。私の師匠は篠崎之男で、その並びにいるのが秋葉長生さんで長生郡の出身です。とても良い絵を描いた人なのです。石井林響さん、この人は大綱の出身の方です。それから加倉井和夫さんは山梨に住んでいましたが、その前は船橋ですと生活しておられたということです。

こういう恵まれたところに千葉県があるわけですが、千葉の有名なのは、青木茂が館山の米良海岸で描いた海の幸の絵で、国の重要文化財になっております。これを描いたのは、青木茂が米良に来て、そこでスケッチをした絵です。今年2月17日のニュースに「青木茂の下絵発見、館山市米良」という新しい発見がありました。今年の7月に県の美術館で展示されるそうです。

もう一枚コピーでお持ちしたのは、安井曾太郎が描いた鴨川の先の方にある仁右衛門島の先の太海でしょうか。スケッチに恰好の良い江澤館というのが今もありますが、そこで描いた絵だそうです。これは当時の外房風景を描いた絵ですが中々立派なものです。これも県の重要文化財の中に入っているようです。特に千葉県はそういう状態で恵まれておりますので、昔から画家の狙う土地柄ということだったのです。

日展という組織が現在日本では一番大きいのですが、「この国の美を見る」という、ちょっとオーバーなキャッチフレーズでやっておりますが、この組織とそっくり同じものを千葉県の美術会は設けております。第1部が日本画、第2部が洋画、第3部が工芸、第4部が彫刻、第5部が書道ということで、日展の組織をそっくり真似て作っております。ところが、千葉市展の方は、更にこれに写真の部、グラフィックの部(商業美術)を加えております。これは千

葉市の美術会だけです。県は、色々検討中だそうです。写真とグラフィックはまだ実現出来ないようです。因みに県の会員数は、5部門で1282名おります。市展の方も結構多く合計880名です。いずれは、県もこの対策を考えてくると思います。

日展に関しては権威主義というわけではありませんが、日本の美術界では日展は権威があります。ただ、現在はスターがいなくなっちゃいました。日本画家には名前に「山」がつく有名画家が多くいます。先ず、**杉山寧**で名前はあまりご存じないかも知れませんが、1956年4月から1982年の6月までの長期にわたって文藝春秋の表紙を全部描いています。これはなかなか出来る事ではありませんね。次は、日展の理事長だった**高山辰雄**で、宗教的な絵を描いていて、スタートは終戦後の食料難の時の子供の絵で、膝掛けに乗って一生懸命食べている絵が特選になりました。以後、順調に有名になっていったというわけです。**東山魁夷**は、千葉縣市川市にご在住でしたが、国民的画家という異名をとるぐらい有名になっております。この3人は、日展の同世代として「日展三山」と呼ばれています。この3人に琳派(りんぱ)を代表して、**加山又造**、院展の代表で昨年亡くなった**平山郁夫**を加えて「日展五山」といっております。この人達は、特別上手いということで定評があったのですが、昨年、平山郁夫が亡くなりまして、ひとりも生存者がいなくなっちゃったというのが現状です。その後をそろそろ「川」が付くのが出てくるのかなと思っているのですが・・・、いかんせんもう年なものですからちょっとその渙発がなさそうです。

週刊誌に日本人の美術に関する発言が載っております。数学者の藤原正彦氏で、今の評論家でも有名になっている方だそうです。その方が1月号に面白い記事を発表していました。日本人の美的感覚ということなのでしょうが、マグカップでお茶を飲むだけなのに「茶道」とひとつのジャンル。字を伝えるだけなのに「書道」、花を作るだけ、花を飾るだけというのでなくて「華道」という。何でもこう深く書くのは、一体これはなんなのかということが載ってまして、やはりそういう見方もあるのかなと思いました。確かに「書道」なんていうのは日本だけですからね。これは日本人がこれから生きていく上では非常に貴重な性格、繊細な気性が国民性だということなのです。確かに言われてみて他を見回すとありませんのでそうなると思います。

絵だけではなく、「波の伊八」という欄間の彫刻をしている有名な彫刻師がいましたが、これはかなり腕が良く関東に行ったら「並みの彫刻師ではない。」と言われるくらい名人だったようです。その波の彫刻を元にして北斎が波の絵を描いています。富士山を小さくして波を大きく、そういう構図の元を作った「波の伊八」の絵を見て真似したという説が通説になっています。その他、茂原に絵馬師が5代続いているとのこと。あとは、県の有形文化財が2点、夷隅郡から笠と、香取郡からトキが指定されております。それから県の伝統工芸として屏風、木造の桶、とんぼ玉が指定になっています。そういう意味で千葉県は非常に文化的に恵まれているといつてよいでしょう。非常にありがたいです。



日本画の道具って皆さんご存じないと思うので、今日参考までにと持って来ました。日本の棕櫚(しゅろ)という絵の具は、普通は貝殻を蒸して天日に干してぼろぼろにして、貝殻を溶くもので溶くという作業があります。その他にはチタンです。これは非常に白が鋭く表現出来ます。もう一つは水晶末です。山梨県が水晶の産地ですからそこから出ている水晶を砕いて粉にして使っていますが、鹿にかわといひまして鹿のすねを工夫してそれで接着していくわけです。紙は麻紙(まし)、麻の紙と書きます、非常に丈夫で描き良いです。それから絹、絹は描き良いですが非常に弱いし保たないですね。そういう物を床の間芸術で、掛け軸にして持ち込みしやすくし非常にやり方を考えて作られています。これはらはなかなか出来ない発想だと思います。

私が最初に個展を行ったのは、今から30年前です。皆さんに色々けしかけられてやりました。1982年の6月、今はもう無くなりましたが、セントラルプラザのセントラル画廊で皆さんの応援で行いました。その時に2代目の館長さんの市原先生が、檄文をそこへ書いてくられて、「川合さんは高校時代から油絵に取り組んで20年、その後、日展会員の篠崎之男画伯に認められ、日本画に転向して既に10年、今では選考会展副長、市、県展の審査員を務める、将来を期待されている中堅作家」とちょっとお恥ずかしい評価を頂いているのですけど・・・。「今回、日本画歴10年、そして50歳を一応の区切りと致しまして、初の個展を開くにあたり、多彩なモチーフの力作を展示頂き、将来の為激励のご指導を賜りたく、よろしくお願ひ致します。」と、市原先生からこういう希少な祝言を頂いたのですが、昨年92歳でお亡くなりになったと聞いてがっかりしております。おかげで「風立ちぬ」という山の絵を、これはどこへ行ってしまったか記憶がないですが、メンバーの中で千葉製粉の社長さんがいらっしやいまして、たまたま見に来てくれた、色々面白い話があるのですが、「川合さん、あなた何故絵を描くようになったの？」なんてまず原因を聞かれました。幼稚園の頃、当時は戦争中ですから多分戦車か何かの絵を描いたのでしょう。それが全国の児童コンクールで入選したんですね。それを幼稚園の園長先生が、教員室に飾ってくれたのです。それが私は他の学科は不得手でも絵だけはまあ良いのかなと変な自信が付いてしまったようです。以降、学年が上がっていても絵と工作だけはいつも上の方で負けなかったという自信があるもので、人間は褒められるとその気になっちゃうというかそういうのがありますね。お陰で現在の絵の趣味、本業、どちらか分かりませんが、長く携わっております。やはり、こういう何か趣味を持つというのは生き甲斐を作れるというか、良い事だと思いますね。お陰で、この年になっても、美術関係の仕事が次から次に来ますので忙しいですね。皆さんの絵の組織のお世話しなければなりませんので、夜中2時3時、寝るのはその後くらいで時間を取られております。

第2回目の個展は、東京電力さんが千葉市展に県民の為のコーナーを作って下さり、県民の絵を無料で展示してくれるという展示場を作ってくれたので、その第1回目に私の絵を並べて頂くことが出来ました。これは長野

県から見た富士山ですが、こういう絵の殆どが、ロータリーの旅行会で取材して描いた絵です。お陰様でありがとうございます。

最後にとっておきの面白い話をします。今まで世界中で一番高い絵、これはピカソの100号の絵ですが、これがだいたい100億円です。物好きな人がいるものだなと思いました。

左の絵は、これは鴨川の八幡海岸です。非常にダイナミックな波と、岩、構図が実にバランスが良いです。上手い絵だと思って、これは実はカレンダーなのですが、剥がしてとっておいて、それを額に入れたら、「これは、どこで売ってるの？」言われた事があります。売っているのではなく、これはたまたま私が利用しただけのことです。

それから、次の東山魁夷の絵ですが、これは初代館長さんであられた松戸節三先生、この方が第1回の館長さんの時に頂いたポスターです。もう30年も前のものですが、これを私のアトリエに置いて参考にしようと思いましたが、途中で雨漏りなんかで大分汚れて痛んでいるのですが、この版はもう県の美術館には置いていないのです。これしかないということです。そんなわけで皆さんにご覧頂こうと思って持ってきました。この原画は有名な九十九谷を描いたのですね。千葉県は海の絵が多いのですが、山も良い山を描いているのです。東山魁夷の出世作と言われております。私がおこれに対抗するわけではないですが、ロータリーで4、5年前に南房総を旅行した帰り、同じ所を走りまして、西を見たら富士山が綺麗に見えました。未だに記憶の中にありますが、これを私は西を向いて描いてあるのです。東山魁夷は、東を描いたら有名になってしまった、そんな経緯があります。



(文責 鮫島永一会員)

#### 第2311回例会

日時⇒ 平成23年5月13日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『千葉市の産業振興戦略について』

卓話者⇒ 千葉市経済部長 皆川 達也様

#### 第2312回例会

日時⇒ 平成23年5月20日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『千葉県初、プロバスケットチーム  
設立の想いと今後の夢』

卓話者⇒ 株ASPE (千葉ジェッツ)  
代表取締役 梶原 健様

